

第2学年 日本語学級 「自分の生活をふりかえろう」(オンライン授業)

トピックのねらい	○動物園の獣医の仕事を読み、自分の生活と比べることができる。 ○自分の生活と獣医の生活を比べて、自分も獣医になれるか友達に発表することができる。
日本語の目標	○文中の「いつ」を表す言葉を押さえ、事柄の順番が分かるようになる。 ○「いつ」が「朝、夕方」のように単語で表されるだけでなく、「見回りがおわるころ」のように文でも表されることがあることが分かる。 ○「わたしは(ぼくは)、動物園の獣医さんになれると思います。どうしてか」といって、——からです。」というモデル文を使って、動物園の獣医の仕事を自分にできるか考え、原稿を書くことができる。
関連	教科・単元 国語科「どうぶつ園のじゅうい」A 生活科「つながる広がるわたしの生活」B
	くらし・行事 メイドさん、ドライバーさんの仕事C
主な学習活動	① いつを表す言葉を見つける。 ② 獣医の仕事内容から気付いたことを考え、発表する。 ③ 自分の生活と比べて考えたことを原稿用紙に書く。

教材・教具：教科書、ノート、

授業展開

時間	学習活動	指導のポイント 支援「○日本語 ◇教科 *バイカルチュラル視点」	関連
1	1 知っているいつを表す言葉を述べる。 今日(today, ngayon) きのう(yesterday, kahapon) 前に(befor, dati pa) 朝(Morning, umaga) 夕方(Evining, gabi) 等	○知っている「いつ」を表す言葉を出し合い、語彙を増やすことができるようにする。 ○いつが、時間を表す言葉であることを想起できることを伝える。 *英語やタガログ語でも言えるか問う。	A B C
	どうぶつ園のじゅういを読んで、いつを表す言葉を見つけよう。		
	2 小段落の最初に、いつを表す言葉があることに気付く。 朝 見回りが終わるころ お昼前に お昼過ぎに 夕方 一日のしごとのおわり どうぶつ園を出る前に	○文字が1マス下がっているところが段落であることを確認する。 ○時間の順序が分かるように言葉が並んでいることを確認する。	A B C
	3 「いつ」を表す言葉には、単語だけでなく、文になっているものもあることに気付く。	◇「朝」などの単語だけでなく、「見回りが終わるころ」のように文になっているものもあることを確認する。 ◇ふりかえりカードに記入するよう指示し、自己評価できるようにする。	A B C
4 学習を振り返る。			

2	<p>1 どうぶつ園のじゅういの仕事のうち、毎日していることとこの日だけの仕事を分ける。</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">じゅういの仕事を読んで、気付いたことを発表しよう。</p> <p>2 どうぶつ園の獣医の仕事で大変そうだと思う仕事を述べる。</p> <p>3 自分の生活と比べて、獣医の仕事の中でできそうなことととても無理だと思うことに分ける。</p> <p>4 2を基に考えて、自分なら動物園の獣医になれるか考える。</p> <p>5 学習を振り返る。</p>	<p>○文中の毎日という言葉に注目できるようにする。</p> <p>○仕事内容からとても真似できないと思われるものを確認する。 * フィリピンの動物園に行った経験を聞いたり、動物の名前を英語で言えるか尋ねたりする。</p> <p>○朝早くから広い動物園を回ったり、毎日日記を書いたりすることができるか、自分と比べて確認する。</p> <p>○できる派とできない派に分かれて、なぜそう考えたかの理由を書くよう伝える。書く際に困らないように、「わたしは（ぼくは）、獣医さんになれると思います。どうしてかという、——からです。」というモデル文を提示する。</p> <p>◇ふりかえりカードに記入するよう指示し、自己評価できるようにする。</p>	A B  C  A B  A B
3	<p>1 前時の授業を振り返り、各々の考えを基に発表原稿を作る。</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">自分の生活と比べて考えたことを書こう。</p> <p>2 発表原稿の元を基にして「はじめ・中・終わり」の文章の組み立てを考える。</p> <p>3 原稿用紙を使って発表原稿を清書する。</p> <p>4 学習を振り返る。</p>	<p>○ベン図を書かせ、自分の生活と比べることを確認する。「できる理由(できない理由)を自分の生活と比べて文章に書きましょう。」</p> <p>○はじめの部分「感じたことや感じたわけ」を確認する。 ○中の部分「筆者の仕事についてのようす」を確認する。 ○終わりの部分「考えたことや気付いたこと」を確認する。</p> <p>○ノートに書いた下書きを段落ごとに行がえしながら書くように指示する。中の部分は、つなぎの言葉(さいしょに、つぎに、さいごに等)を利用して、発表原稿を仕上げるようにする。</p> <p>○ふりかえりカードに記入するよう指示し、自己評価できるようにする。</p>	A B  A B  A B
<p>最終的に、「どうぶつ園のじゅういになれるか」と考えて作文に仕上げることができた。</p> <p>説明文が、「はじめ」「中」「おわり」で作られていることを理解し、中の文を接続詞(まず・つぎに・さいごに)を使って書き上げることができた。また、自分の思いと引用文を比較して文章を書くこともできた。</p>		<p style="text-align: right;">どうぶつ園のじゅうい</p> <p>国語で、どうぶつ園のじゅういについて学 しゅうしました。わたしは、どうぶつ園のじ ゅういになれるかな。考えてみたいと思いま す。</p> <p>まず、さわっただけで、いのししのおなか に赤ちゃんがいるのかどうか分かるところが すごいと思います。</p> <p>つぎに、ペンギンの口の中にあるボールペ ンをはかせるところがすごいと思います。ど うしてかという、わたしは、気もちわるく なるから、口からボールペンをはかせられま せん。</p> <p>さいごに、ワラビーのはぐきをちりちりす るところがすごいです。どうしてかと いうと、わたしだったら、かまれるかもしれ ないから、はぐきをちりちりできません。</p> <p>今まで書いたことから考えて、わたしは、 どうぶつ園のじゅういになれるません。</p>	

令和3年度 第2学年 日本語学級「自分の生活をふりかえろう」 ふりかえり

<b>児童 の 様子</b>	≪日本語学級での様子≫ ○「いつ」という言葉の意味が分からない児童のために、意味が分かる児童が具体例を挙げて答えた。そこから、「いつ」を表す言葉を挙げることができた。朝、夕方、お昼、午前、午後、九時 等 ○獣医の仕事を一つ一つ具体的にみることで、その仕事の大変に気付くことができた。ペンギンにボールペンをはかせる作業を考えて、吐瀉物やにおいが出ることなどを想起させるとようやく理解が深まった。 ▲単に獣医になれるかと問うと、獣医の仕事を表面的にとらえて、「動物はかわいいから自分は獣医になれる」という意見を述べる児童がいた。文面の裏側を読み取る作業となるため、表面的な読みだと、非常に大変な仕事であると捉えることができない。 ▲本文で上記のことから「いつ」を表す言葉を見つけることができたが、「見回りが終わるころ」のような文章になっているものが「いつ」を表す言葉であると理解するのが難しかったようだ。「いつ」探しに夢中になった児童でも文章で表す「いつ」を見つける作業では、気持ちが乗っていないのが見て取れた。 ▲ベン図を書かせて、自分の生活を振り返る文章を書いた。「獣医の仕事を自分の生活と比べてできるかどうか考えよう。」と発問し、ベン図を文章化する作業を行った。ベン図で箇条書きを文章にする作業が大変そうであった。  ≪在籍学級での様子≫ ○先行授業を行ったことで、自信をもって質問に答えられた。手を挙げなくても指名すると答えることができた。きちんと内容を理解しており、在籍学級での質問にもきちんと反応していることが分かる。文章化の際、自信を持って取り組むことができていた。		
	<b>学習活動</b>	<b>成果</b>	○いつを表す言葉が、単語だけでなく文章で表されるものがあることを理解することができた。
<b>案 いて 日本語支 援課題</b>	<b>1 時間目</b>	<b>課題</b>	△単語での「いつ」の語彙が少ない。ましてや文章となると、なかなか出てこない。 →単語でのいつを掘り起こす必要がある。それが文章でのいつを見つける手がかりになる。
<b>につ</b>	<b>成果</b>	○頭の中に風景を描かせるために身近な出来事を具体的に提示し合えた。	

		<p><b>課題</b></p> <p>△自分の生活の中で似たような経験はないかを掘り起こしてから「なれるかなれないか」を考えさせないといけないことが分かった。</p> <p>→気持ちが悪くなっていた経験などを出し合うようにする。</p>
		<p><b>成果</b></p> <p>○獣医の仕事の大変さを理解するところできた。モデル文を提示することで、安心して書くことができていた。また、そのことが、自信をつけて発表する姿に繋がった。</p> <p><b>課題</b></p> <p>△ペン図で箇条書きを文章にするのが難しそうだった。</p> <p>→初めて経験するという事で戸惑いもあったかもしれないが、戸惑いを減らすためにも書き方の例があるとよい。</p>
		<p>△自分の生活に即して判断ができない。</p> <p>→より具体的な内容と学校での様子を客観的に考える支援が必要である。</p>